

## 第4回「化学物質排出把握管理促進法に関する懇談会」資料

### 目次

- 1．ウレタンフォーム工業会のP R T R対象物質
- 2．P R T R対象物質の排出量、移動量の推移
- 3．ウレタンフォーム工業会のV O C排出抑制自主的取組計画
- 4．P R T R、V O C排出抑制の取組と課題
- 5．行政への要望

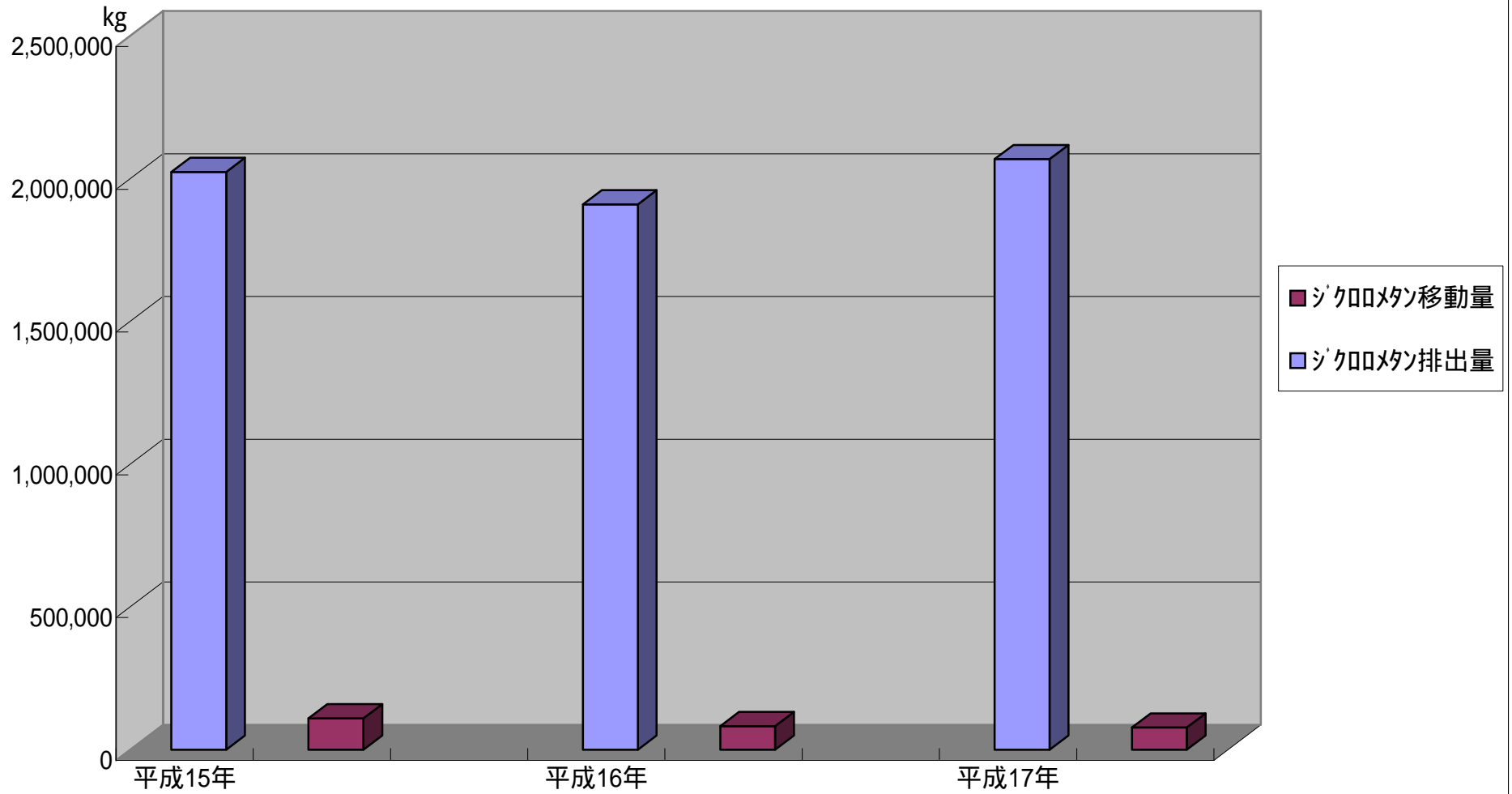
平成18年8月3日

ウレタンフォーム工業会

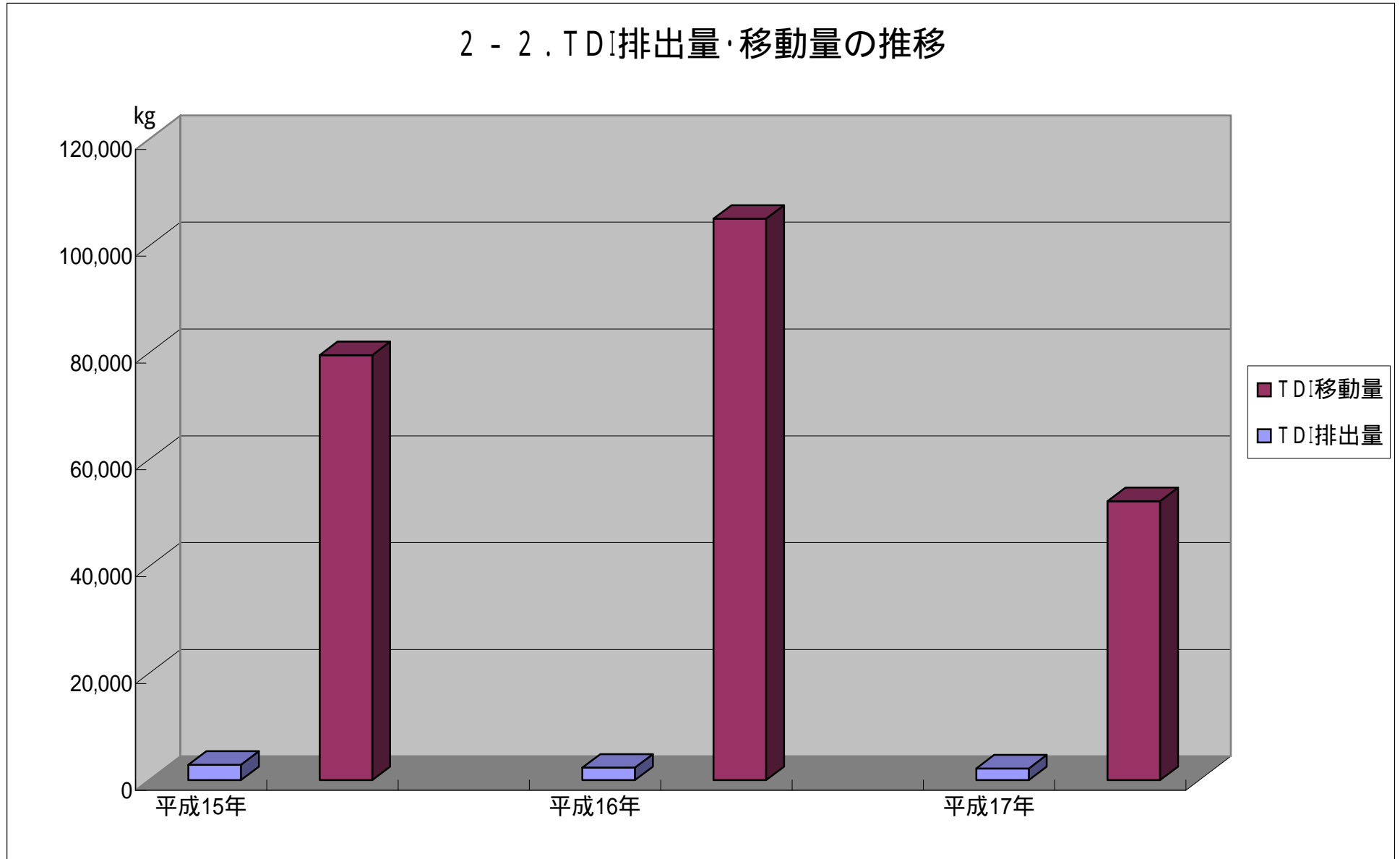
1 . ウレタンフォーム工業会の P R T R 対象物質

対象物質	用 途
ジクロロメタン	・ 軟質ウレタンフォームの発泡剤 ・ ポリウレタン製造装置等の洗浄剤 ・ ポリウレタン樹脂製品（接着剤等）、離型剤等の溶剤
トルエンジイソシア ネート（T D I）	・ 軟質ウレタンフォームの主原料 ・ ポリウレタン樹脂製品（接着剤等）の原料
H C F C 1 4 1 b	・ 硬質ウレタンフォームの発泡剤

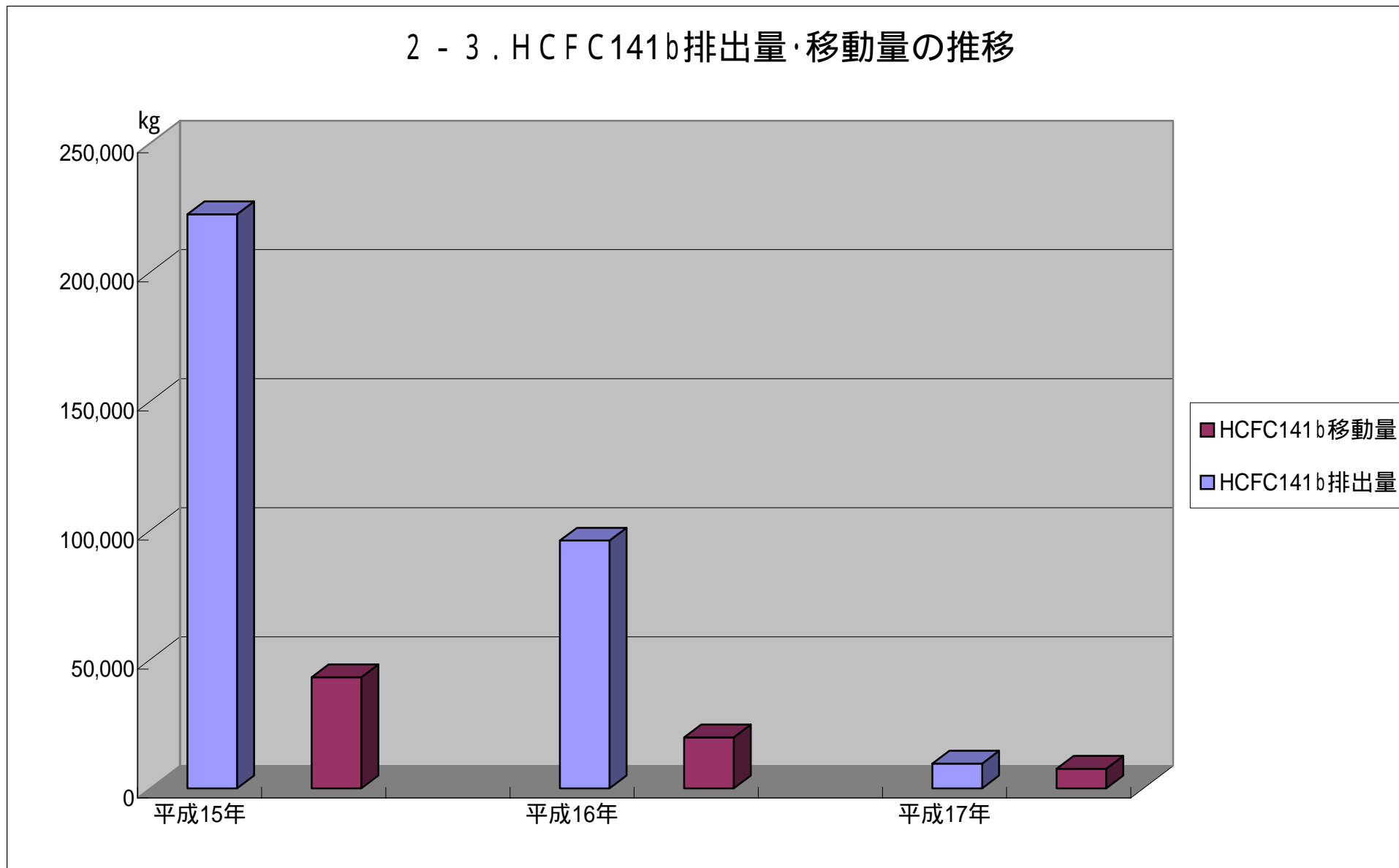
## 2 - 1 . ジクロロメタン排出量・移動量の推移



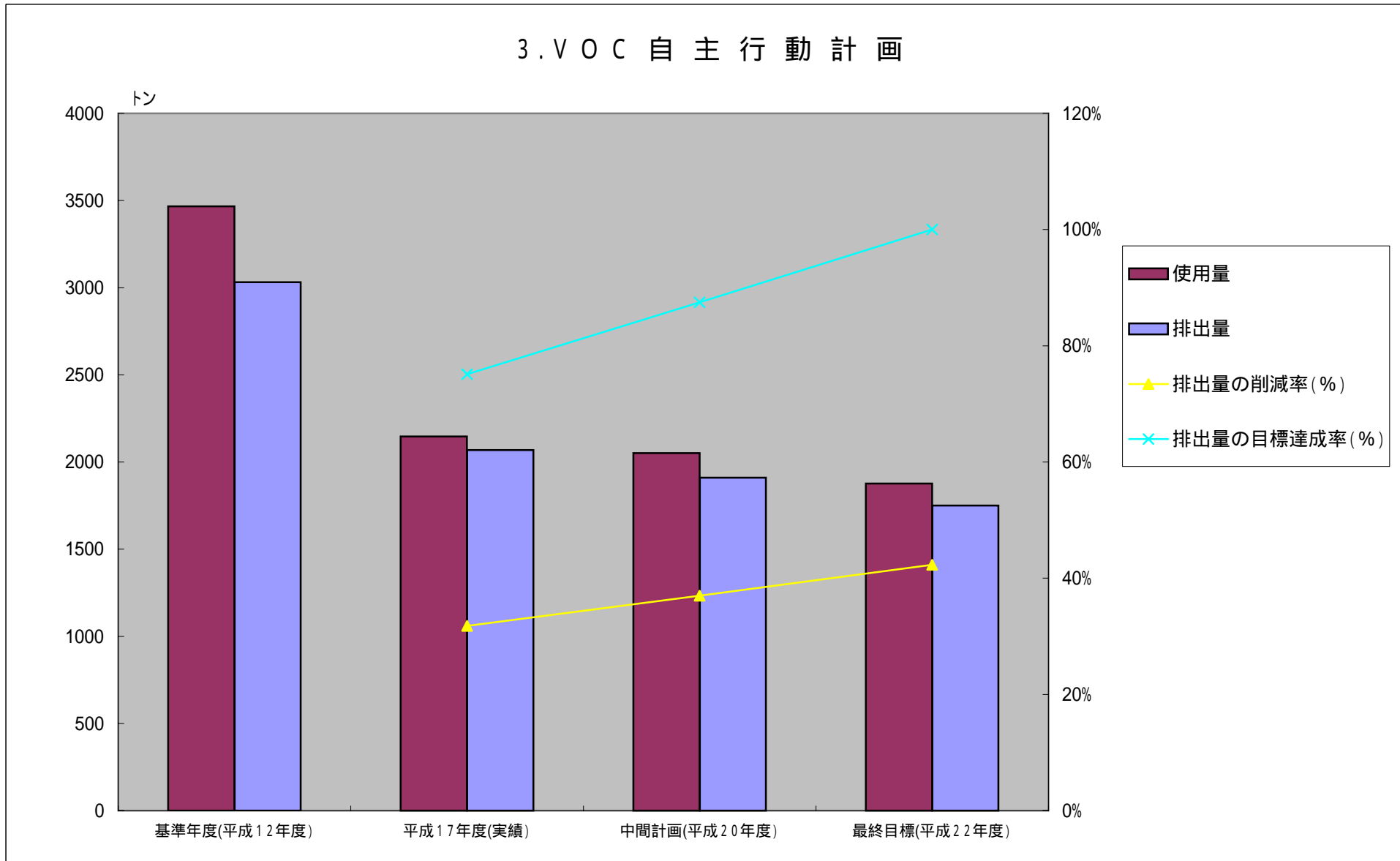
## 2 - 2 . TDI排出量・移動量の推移



### 2 - 3 . HCFC141b排出量・移動量の推移



### 3.VOC自主行動計画



#### 4 . P R T R、 V O C 排出抑制の取組と課題

対象物質	排出抑制対策(例)	課題等
ジクロロメタン	<p>1 . 発泡剤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配合処方の見直しによる製品当たりの使用量の低減</li> <li>・ 製品品種の見直し( 統合、廃止 )</li> <li>・ 液化炭酸ガス法採用による脱ジクロロメタン</li> <li>・ 回収装置の設置</li> </ul> <p>2 . 洗浄剤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温水洗浄の採用</li> <li>・ 高圧発泡機導入により洗浄剤の使用量削減</li> <li>・ 代替洗浄剤の採用</li> </ul> <p>3 . 溶剤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水の使用 ( エマルジョン )</li> <li>・ 代替溶剤の採用 ( 石油系等 )</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低減量が少なく限定的な効果</li> <li>・ 顧客のニーズの対応不能による採用に限界</li> <li>・ 排出抑制対策に最大の効果。ただし、莫大な投資を要す</li> <li>・ 全製品への採用不可</li> <li>・ 多大な設備投資</li> <li>・ 設備投資、廃水</li> <li>・ 多大な投資</li> <li>・ コストアップ ( 代替洗浄剤が高価 )</li> <li>・ 安全情報の不足</li> <li>・ 製品品質、作業性など</li> <li>・ 同上</li> </ul>
トルエンジイソシアネート ( T D I )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 回収装置の設置</li> <li>・ 非 T D I 化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多大な設備投資</li> <li>・ 品質、コストアップ</li> </ul>
H C F C 1 4 1 b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 脱 H C F C 1 4 1 b 化 ( 06 年 )</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質、コストアップ</li> </ul>

## 5 . 行政への要望

現行P R T R制度（排出量等算出法、届出法、公表・公開法等）を変更しないこと

化学物質の新規規制、規制変更（強化）情報の早期発信

化学物質の安全情報提供システムの構築

研究開発、設備設置への支援（税優遇措置、補助金など）

輸入品に関する国産品同様の製造時の取扱